

Press Release

各位

三菱UFJ国際投信株式会社
 東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

ノーロード・インデックスファンド『eMAXIS Slim(イーマクス スリム)』シリーズ 合計純資産総額 3兆円を突破

この度、三菱UFJ国際投信株式会社(取締役社長 ^{よこかわ すなお}横川 直)は、『eMAXIS Slim(イーマクス スリム)』シリーズ(以下、同シリーズ)合計の純資産総額が8月8日に3兆75億円と、3兆円を突破したことをお知らせいたします。

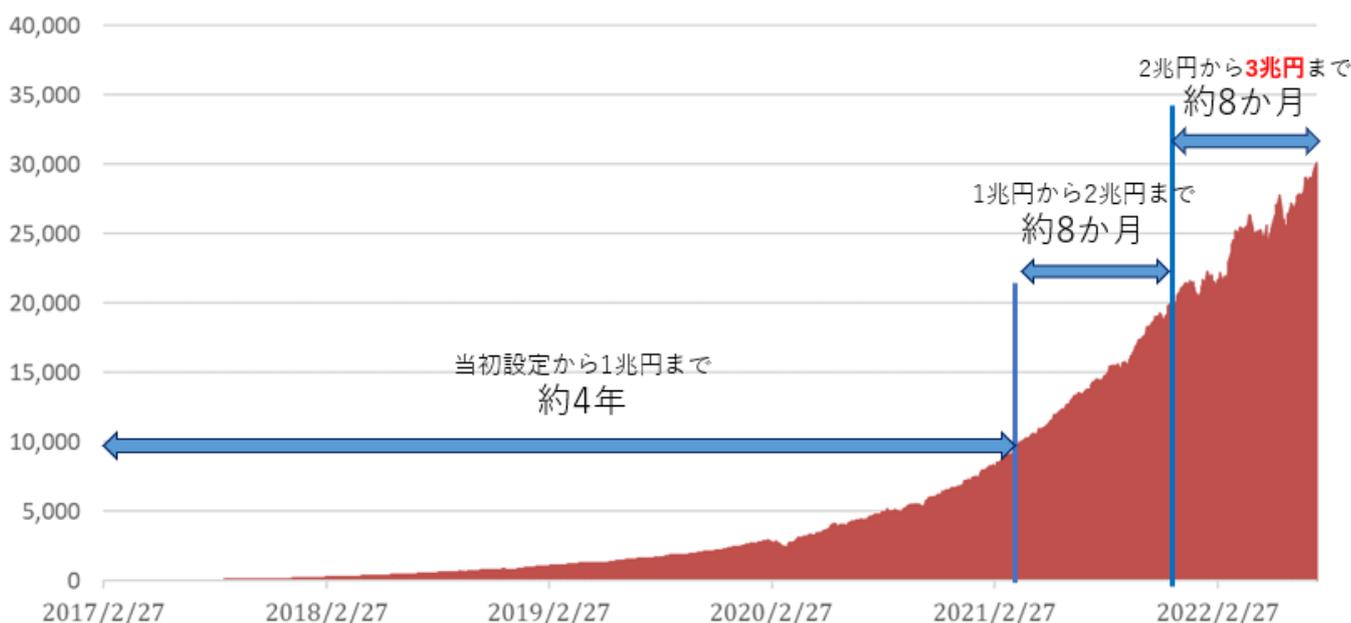
■合計純資産総額が2兆円到達後、約8か月で3兆円を突破

2017年2月に4ファンドを設定しスタートした同シリーズは、商品ラインナップも13ファンドまでに拡大し(2022年7月末現在)、「業界最低水準の運用コストを将来にわたってめざし続ける※1」というコンセプトのもと、多くの投資家の皆さまにご愛顧いただき、順調に純資産総額を増やしてまいりました。

同シリーズの合計純資産総額は1兆円を到達するまでに設定から約4年(2021年4月)かかりましたが、その倍となる2兆円突破には約8か月(2021年12月)、さらに今回の3兆円突破には足元株価等が軟調ではあるものの、同様のペースの約8か月で到達することができました。

※1 eMAXIS Slim シリーズでは業界最低水準の運用コストをめざしますが、その達成を保証等するものではありません。

【図表】『eMAXIS Slim(イーマクス スリム)』シリーズ合計の純資産総額の推移
 (単位:億円、2017年2月27日~2022年8月8日)



※上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

■業界全体の中の資金流入や純資産総額でも存在感を示す同シリーズ

業界全体(公募株式投信(除くETF))^{※2}における2022年7月の純設定額は、『eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)』が第1位を、『eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)』が第2位と上位2位を獲得しました。また、『eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)』の純資産総額は業界全体(公募株式投信(除くETF))^{※2}としても2番目に大きなファンド(1兆3,654億円、2022年7月末現在)となっております。

※2 国内公募株式投信(除くETF) 5,601本のファンドを対象(2022年7月末現在)。(出所)NRI/Fundmarkのデータを基に三菱UFJ国際投信にて調査。

三菱UFJ国際投信は、より一層、商品開発力と運用力に磨きをかけ、お客さまの多様なニーズと信頼にお応えしてまいります。また、LINEやYouTubeなどを活用した情報発信、投資家の皆さまとの会話や声をお聞きしながら弊社が皆さまにとって身近な存在となるよう、努めてまいります。引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■eMAXIS Slim(イーマクシス スリム)についてはこちら URL:<https://emaxis.jp/lp/slim/pr1/index.html>

<ご参考>『eMAXIS Slim(イーマクシス スリム)』シリーズ ファンド一覧(2022年8月8日現在)

	ファンド	純資産総額 (億円)	投資リスク	手続・ 手数料等
1	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	14,205	■	■
2	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	6,347	■	■
3	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	3,602	■	■
4	eMAXIS Slim 全世界株式(除く日本)	1,634	■	■
5	eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	1,582	■	■
6	eMAXIS Slim 新興国株式インデックス	894	■	■
7	eMAXIS Slim 国内株式(TOPIX)	537	■	■
8	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	521	■	■
9	eMAXIS Slim 国内株式(日経平均)	218	■	■
10	eMAXIS Slim 先進国リートインデックス	195	■	■
11	eMAXIS Slim 国内債券インデックス	167	■	■
12	eMAXIS Slim 国内リートインデックス	110	■	■
13	eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	58	■	■

※各ファンドの投資リスクと手続・手数料等は、上記一覧よりご参照ください。

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

- 当資料は、プレスリリースとして三菱UFJ国際投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

以上